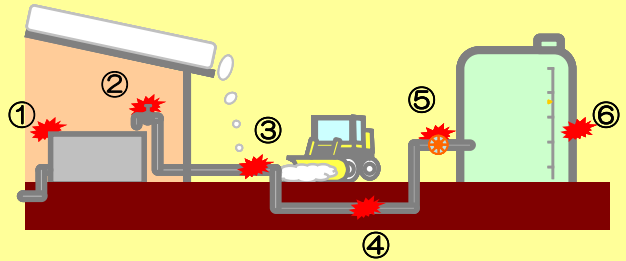


水質汚濁事故を防止しましょう

県内では、事業所が原因となる水質汚濁事故が毎年数十件発生しています。水質汚濁事故によって河川や水路、海、地下水等の水が汚染されると、魚などの水生生物に影響を与えるほか、水道や農業用水が取水できない、井戸水が飲めなくなるなど人の生活にも多大な影響を与えるおそれがあります。

富山県の豊かな水環境を守るため、水質汚濁事故の防止に努めてくださるようお願いいたします。

⚠ 事業場における水質汚濁事故原因（例）



- ① 反応槽や排水処理施設等の不具合
- ② 設備の操作のミスや投入量のミス
- ③ 落雪・除雪時による配管の破損
- ④ 配管の腐食劣化による破損
- ⑤ バルブの締め忘れ
- ⑥ 貯蔵タンクの腐食劣化等による破損 など…



特に冬期には雪の影響による事故やバルブの締め忘れによる事故が多発しています！



水質汚濁事故を防止しましょう！
そのためには、普段からの取り組みが
なにより大切です！
以下の項目について再度のご確認を！！

水環境保全活動推進キャラクター パッコちゃん

水質汚濁事故の防止のために

○定期点検・整備を怠らない

- ・タンク・配管に腐食・亀裂がないか
（特に地下タンク・地下配管は要注意！）
- ・液量が急激に減っていないか
- ・排水処理が適切に行われているか
- ・排水がオーバーフローしていないか

○万が一に備えた施設整備を

- ・土のうや油吸着材等の事前準備
- ・自動水質監視装置の設置
- ・地下タンクや地下配管の地上設置
- ・防液堤やトレンチの設置
- ・油水分離槽等の設置

○作業時のミスをなくす体制づくりを

- ・部局間の相互・ダブルチェック
- ・非定常作業に関する事前打合せ
- ・管理値等のわかりやすい表示
- ・マニュアルの整備とその徹底
- ・教育や訓練等の実施

○その他注意すべき事項

- ・補給時や小分け時には現場を離れない
- ・バルブの締め忘れがないよう確認
- ・積雪・落雪や除雪時のミスにより配管が破損しないよう配慮
- ・緊急連絡網の整備 など…

要check!

地下タンクや配管から油が地下浸透しないようご注意を!



ホタロウくん

地下タンクや配管が老朽化により破損し、油が地下浸透する事故が発生しています！
油が地下に浸透した場合、その回収・浄化は非常に困難であり、対策にかかる負担が大きくなります。
こうした事故を起こさないために、施設の整備・点検を適切に行ってくださいようお願いします。

⚠ 日常点検・定期点検を忘れずに!

- 日常点検のポイント
 - ・不自然な油臭がしないか確認!
 - ・液量計をこまめに確認・記録!
 - ・適宜、漏えい検査管などで確認!
- 定期点検
 - 定期的に気密検査による漏れの点検を!

消防法令により定期点検の回数が定められています。
必ず実施してください。

⚠ 施設の整備により腐食防止対策を!

- 老朽化した施設の整備
 - ・早めの施設更新
 - ・内面コーティングや電気防食など、
腐食防止の施設整備を早めを実施!

腐食のおそれが高い地下貯蔵タンクについては
消防法令で対策をとることが義務付けられています。

詳しくは、富山県消防課のホームページ
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1007/kj00011382.html
をチェック!

～水質汚濁事故を起こしてしまったら～

原因者には、各種法令や社会的責任により水質汚濁事故に対処していくことが求められます。
万一水質汚濁事故を起こしてしまった場合、迅速・的確な対応が被害の軽減や二次災害の防止
に大きな効果をもたらします。

下記フローを参考に迅速・的確な対応をお願いします。

事故時の対応フロー

水質汚濁事故の発生

応急措置

- 原因物質の漏洩、流出の停止措置の実施
- 汚染、被害の拡大防止措置の実施

通報、連絡

- 発生日時・場所、原因物質の流出量等の情報整理
- 関係行政機関等への通報、連絡

環境の被害状況調査

- 下流域への影響範囲・被害状況の確認
- 関係行政機関等への連絡
- 汚染、被害の拡大防止措置の実施

⇒ 併行して実施

事故後の対応

- 再発防止に向けた恒久対策等の検討、実施
- 環境モニタリング調査の実施



ホリィくん

詳しくは、水質汚濁事故対応ハンディマニュアルをチェック!!
(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00010320.html)

問合せ先：富山県水質汚濁事故対策連絡会議（事務局 富山県環境保全課 ☎076-444-3146）